

# やよい図書館

いつもやよい図書館をご利用いただきましてありがとうございます。

朝晩は少し冷えるようになってきました。暖かいお布団の中で本を読むと幸せな気分になりますね。そのまま眠ってしまっても大丈夫…という安心感なのかすぐにうとうととしてしまいますが…。秋の夜長、どうぞ読書を楽しんでいただきたいと思います。

さて、区制80周年記念事業として募集いたしました子どもの部の絵と俳句に、たくさんのご応募と投票（絵257票、俳句291票集まりました）、そして感想を本当にありがとうございました。投票の結果がまとまりましたので、発表いたします！！

くせい しょうわんきわんじぎょう  
**区制80周年記念事業**

ましまし  
りくりり  
80  
明日の  
あたち

★**けつてい**★

## 「描こう！これまでの足立、これからの足立」

えが  
絵



★**NO. 1賞★**  
『足立区の風景』  
竹村美那子さん（小5）  
くみなさまの感想より>  
「最近の足立区の風景が  
上手に描かれている」



★**区長賞★**  
『足立区は  
えがおが1番！』  
立崎小晴さん（小3）

俳句

★**NO. 1賞★** 夏休みセミもうるさく母もうるさく 尾山友莉花さん（中2）  
くみなさまの感想より> 「子どもの頃の夏休みを思い出しました。今は母となり、きっと夏休みは私がセミに見えているんだろうなあ・・・。」

★**区長賞★** にぎやかな蟬のパーティーまくがあく 藤田佳己さん（中1）

## 大人の部 作品大募集！！

子どもの部に引き続き、大人のみなさまの写真と俳句を募集いたします。

足立区の好きなところを写真に撮るか、俳句にしてください。

大人の部(高校生以上)募集期間 11月1日～11月29日

※応募は写真、俳句それぞれ一人一点までとします。

(応募いただいた作品はお返しいたしません。)

作品は未発表のものに限ります。

写真:2L(127×178ミリ)サイズに現像したものをお持ちください。

俳句:短冊は図書館に置いてあるものをお使いください。

足立区への愛がこもった作品をお待ちしております！



読書の窓 11月に読みたい本

## 音楽を聴きながら読みたい本

もうすっかり秋も深まり、冬の足音も聞こえて来そうな11月。図書館をご利用のみなさまは読書の秋を楽しまれていることと思います。でも秋は読書の秋だけではありませんね。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋……。今月の読書の窓では、音楽にスポットを当てました。残り少なくなってきた秋。お気に入りの曲を聴きながら、「読書の秋」と「芸術の秋」を同時に楽しんでみるのはいかがでしょうか。

『日本童謡ものがたり』  
北原白秋／著 河出書房新社

童謡は音楽が好きの人でも、そうでない人でも、誰でも口ずさむことができるのではないのでしょうか。この本には、必ずみなさんが知っている童謡が登場します。「雪こんこん♪」は鳥羽天皇が小さい時に歌われたのが一番古いなど、新しい発見が多くある1冊です。是非、童謡を口ずさみながら読んでみてはいかがでしょうか。

『音楽のある休日』  
斎藤純／著 河出書房新社

みなさんは音楽とどんな付き合い方をしていますか。本書は、元FMラジオ局ディレクターという経歴を持ち、音楽への造詣が深い作者が、音楽でいっぱいの日日常を描いています。コンサートに出かけた時の一コマ。ジャズ喫茶の話。実家が映画館という環境での、音楽との出会い…。自分の場合は音楽がどういう存在なのか、ちょっと考えてみたくなる一冊です。

『マエストロ宮本のおもしろクラシック  
100』  
宮本英世／著 平凡社

クラシックをよく聞く方にも、あまりお聞きにならない方にもおすすめの本です。お酒好きならつい飲みたいくなる曲や、聞くだけで世界旅行をしたくなる曲、実は本当の作曲者は別にした曲など、読んでいると思わず笑ってしまったり、驚いたりする場面も多くある本です。

『ビジュアルで楽しむピアノの世界』  
那須田務／監修 学研

習い事の中でも人気の高いピアノ。習ったことはなくても、ピアノの伴奏で合唱した経験はきっとありますよね。この楽器に全く馴染みがないという方はいないのでは?! そんなピアノについて、楽しく色々な事を学べるのが本書です。大作曲家の有名なピアノ曲の解説や、ハッとするほど美しく作られたピアノを写真で楽しむことができます。

『ビートルズ オーラル・ヒストリー』  
デヴィッド・プリチャード/  
アラン・ライソート／著 加藤律子訳  
バーン・コーポレーション

世界で愛され続けているビートルズの知られざる歴史を知ることのできる一冊です。ビートルズのメンバーや関係者の証言により、明かされていなかった事実が紹介されています。この本で、ビートルズの新事実を覗いてみてください。

『国のうた』  
弓狩匡純／著 文藝春秋

オリンピックやサッカーの国際試合などで耳にする様々な国歌。意識は試合に向いていて相手国の歌に耳を傾けるところではないかもしれませんが、不思議なメロディやリズムに驚いたことはないですか? 世界87カ国の国歌の原詞・日本語訳と解説を掲載した本書を読んで、異国の文化に触れてみませんか。